



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 大
 コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯浅 康平
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 廣次 TEL 075-313-6151
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	5,390	9.6	296	△ 12.3	348	△ 8.0	149	△ 36.9
22年3月期第1四半期	4,917	△ 19.6	337	△ 20.3	379	△ 19.9	236	△ 10.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	8.29	—
22年3月期第1四半期	13.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	36,911	29,983	80.9	1,659.75
22年3月期	38,204	30,404	79.3	1,683.15

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 29,858百万円 22年3月期 30,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	10.00	—	12.50	22.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,820	7.2	610	△ 0.5	640	△ 1.5	370	△ 3.8	20.57
通期	22,000	6.8	1,250	5.5	1,300	4.6	760	5.6	42.25

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、添付資料3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	19,064,897 株	22年3月期	19,064,897 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	1,075,437 株	22年3月期	1,075,355 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	17,989,506 株	22年3月期1Q	17,338,286 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とする海外の旺盛な需要に支えられ一部に回復の動きはあるものの、欧州金融危機等の景気下押し懸念が浮上し、円高・株安が進むなど依然として厳しい状況が続きました。

物流業界におきましては、輸出入貨物の取扱数量は大幅に伸びましたが、国内貨物輸送量及び倉庫業の保管残高は低迷しました。また、競争激化の状況は続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、さらなる業務の品質向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の営業収益は5,390百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は296百万円（前年同期比12.3%減）、経常利益は348百万円（前年同期比8.0%減）、四半期純利益は149百万円（前年同期比36.9%減）となりました。

(セグメント別の概況)

① 倉庫業

倉庫業におきましては、入出庫高は前年同期に比し増加しましたが、保管残高は減少しました。これらの結果、倉庫業の営業収益は1,193百万円、セグメント利益は101百万円となりました。

② 運送業

運送業におきましては、取扱数量は出庫高の増加の影響等により、前年同期に比し増加し、営業収益は2,823百万円、セグメント利益は235百万円となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、通関業の取扱数量は前年同期に比し大幅に増加し、梱包業の取扱数量も増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は1,395百万円、セグメント利益は114百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,293百万円減の36,911百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が317百万円、固定資産の建物及び構築物が194百万円、投資有価証券が565百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ872百万円減の6,927百万円となりました。これは主に、流動負債の未払法人税等が470百万円、賞与引当金が134百万円、固定負債の長期借入金が176百万円、繰延税金負債が181百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ420百万円減の29,983百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が344百万円減少したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント増の80.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローで216百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローで78百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローで455百万円の減少となり、当第1四半期連結会計期間末には4,264百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、216百万円と前年同期と比べ423百万円（66.2%）の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産及び投資有価証券の取得のための支出によるものであり、78百万円と前年同期と比べ992百万円（92.7%）の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、主に、長期借入金の返済及び配当金の支払いによる減少によるものであり、455百万円と前年同期と比べ567百万円（-%）の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期連結業績は、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成22年5月19日発表の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法（建物については租税特別措置法に規定する割増償却を含む）を採用している有形固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計基準等の改正に伴う変更

1) 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

2) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応指針第24号 平成20年3月10日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,264,814	4,582,422
受取手形及び営業未収入金	3,017,882	3,091,546
貯蔵品	11,047	12,069
繰延税金資産	51,158	153,379
その他	391,074	417,611
貸倒引当金	△13,458	△13,587
流動資産合計	7,722,519	8,243,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,314,899	13,509,501
機械装置及び運搬具（純額）	777,908	751,715
土地	9,666,300	9,666,300
リース資産（純額）	37,302	40,096
その他（純額）	132,776	130,428
有形固定資産合計	23,929,187	24,098,041
無形固定資産	36,590	37,724
投資その他の資産		
投資有価証券	4,891,811	5,457,204
繰延税金資産	8,428	9,236
その他	322,946	358,950
貸倒引当金	△214	△234
投資その他の資産合計	5,222,972	5,825,156
固定資産合計	29,188,750	29,960,922
資産合計	36,911,270	38,204,364

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,138,603	1,180,965
短期借入金	3,310,000	3,310,000
1年内返済予定の長期借入金	793,400	844,100
リース債務	27,433	11,734
未払法人税等	22,602	492,991
賞与引当金	94,455	229,100
役員賞与引当金	3,800	20,000
その他	508,422	300,726
流動負債合計	5,898,716	6,389,617
固定負債		
長期借入金	591,700	767,800
リース債務	11,734	30,366
繰延税金負債	245,376	426,478
退職給付引当金	60,571	63,055
負ののれん	4,873	5,685
その他	114,711	116,951
固定負債合計	1,028,968	1,410,338
負債合計	6,927,684	7,799,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	25,570,814	25,648,948
自己株式	△930,547	△930,494
株主資本合計	29,638,368	29,716,555
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	223,815	567,835
為替換算調整勘定	△4,165	△5,314
評価・換算差額等合計	219,649	562,521
少数株主持分	125,567	125,332
純資産合計	29,983,585	30,404,408
負債純資産合計	36,911,270	38,204,364

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業収益	4,917,414	5,390,565
営業原価	4,432,036	4,930,066
営業総利益	485,377	460,499
販売費及び一般管理費	147,379	163,933
営業利益	337,998	296,565
営業外収益		
受取利息	514	259
受取配当金	48,911	56,999
受取家賃	2,932	—
社宅使用料	—	2,910
負ののれん償却額	812	812
持分法による投資利益	2,219	—
その他	3,351	8,357
営業外収益合計	58,742	69,339
営業外費用		
支払利息	16,513	15,618
持分法による投資損失	—	248
その他	855	1,187
営業外費用合計	17,368	17,053
経常利益	379,372	348,852
特別利益		
固定資産売却益	16,396	2,427
投資有価証券売却益	2,982	—
貸倒引当金戻入額	21	149
特別利益合計	19,399	2,576
特別損失		
固定資産除却損	717	522
固定資産売却損	1,095	—
投資有価証券評価損	—	62,732
特別損失合計	1,812	63,255
税金等調整前四半期純利益	396,959	288,173
法人税、住民税及び事業税	119,153	19,303
法人税等調整額	39,226	118,850
法人税等合計	158,379	138,154
少数株主損益調整前四半期純利益	—	150,019
少数株主利益	2,406	916
四半期純利益	236,173	149,103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	396,959	288,173
減価償却費	279,858	311,411
負ののれん償却額	△812	△812
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21	△149
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△129,150	△134,645
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,400	△16,200
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,284	△2,483
受取利息及び受取配当金	△49,426	△57,259
支払利息	16,513	15,618
持分法による投資損益 (△は益)	△2,219	248
為替差損益 (△は益)	26	265
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	62,732
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,982	△0
固定資産除却損	717	522
固定資産売却損益 (△は益)	△15,301	△2,427
営業債権の増減額 (△は増加)	59,881	73,663
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,975	1,022
その他の資産の増減額 (△は増加)	△41,829	27,785
営業債務の増減額 (△は減少)	24,441	△42,361
未払消費税等の増減額 (△は減少)	54,119	64,895
その他の負債の増減額 (△は減少)	73,247	56,867
小計	640,363	646,867
利息及び配当金の受取額	53,142	60,559
利息の支払額	△18,353	△15,173
法人税等の支払額	△35,719	△476,018
営業活動によるキャッシュ・フロー	639,432	216,234
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
定期預金の払戻による収入	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△886,224	△75,417
有形固定資産の売却による収入	39,804	5,950
投資有価証券の取得による支出	△223,927	△42,900
投資有価証券の売却による収入	3,967	0
子会社出資金の取得による支出	△4,558	—
子会社の清算による収入	—	26,505
その他	△375	7,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,071,313	△78,369

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△197,900	△226,800
リース債務の返済による支出	△2,609	△2,933
自己株式の増減額 (△は増加)	△12,723	△52
配当金の支払額	△173,672	△224,899
少数株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	112,338	△455,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△319,567	△317,607
現金及び現金同等物の期首残高	4,326,492	4,582,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,006,924	4,264,814

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

項目	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物取 扱業(千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	1,304,764	2,630,054	982,595	4,917,414	—	4,917,414
(2) セグメント間の内部営業収 益又は振替高	10,546	8,765	—	19,312	△19,312	—
計	1,315,311	2,638,819	982,595	4,936,726	△19,312	4,917,414
営業利益	210,599	217,549	48,616	476,766	△138,767	337,998

(注) 1. 事業区分は営業収益の集計区分によっております。

2. 各事業の主な業務は以下のとおりであります。

倉庫業 : 倉庫、賃貸等

運送業 : 貨物利用運送、貨物自動車運送

国際貨物取扱業 : 梱包、通関等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外営業収益は、連結営業収益の10%未満であるため、海外営業収益の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、倉庫業、賃貸業、運送業、梱包業、通関業等の事業活動を展開しており、事業の種類、性質に応じて、「倉庫業」、「運送業」及び「国際貨物取扱業」の3つを報告セグメントとしております。

「倉庫業」は、倉庫業及び賃貸業を行っております。

「運送業」は、貨物利用運送事業、貨物自動車運送事業及び保険代理店業を行っております。

「国際貨物取扱業」は、梱包業及び通関業を行っております。

2. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：千円）

	倉庫業	運送業	国際貨物取扱業	合計
営業収益				
外部顧客へ営業収益	1,182,782	2,812,165	1,395,617	5,390,565
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	10,363	10,900	—	21,263
計	1,193,146	2,823,065	1,395,617	5,411,828
セグメント利益	101,107	235,407	114,897	451,412

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	451,412
全社費用（注）	△154,846
四半期連結損益計算書の営業利益	296,565

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。